

研修名	令和5年度災害・事故時のこころのケア対策事業専門研修
講師	久留米大学保健管理センター 准教授 大江 美佐里 氏
開催日時	令和6年1月31日（水）18：30～21：00
会場	北九州市総合保健福祉センター（アシスト21）2階 講堂
参加者数	38名（内訳：北九州市役所職員、医療機関・相談機関等の職員など）
研修の 内容等	災害・事故時やその後の支援活動に必要となるこころのケアについて、相談業務等に従事している関係職員の理解を深めるとともに、相談支援技能を高めることを目的とし、開催した。 今年度は「被災地域でのこころのケア実践 トラウマ反応・悲嘆を中心に」というテーマで、被災後のトラウマや悲嘆の特徴などについて学んだ。また久留米大学の心理教育テキスト 認知行動療法「やわらかこころプログラム」（大江氏監修）の紹介もあり、幅広い内容でこころのケアを学ぶことができた。 
参加者の声	- 被災後の経過や様々な支援の全体像など概要や基礎的なところを含めた説明で非常に分かりやすかったです。被災地支援に限らず、日々の業務においても活かすことができそうなお話も多く、大変勉強になりました。 - 出来事のフェーズに応じて心のケアも変わることが分かりました。 - 何度も繰り返し研修を受けることで身に着くものだと感じました。 - 初めての災害ボランティアに行ってみようと思っていたとき、こちらの研修を知りました。行くときはこちらの資料を持っていきます。ありがとうございました。